

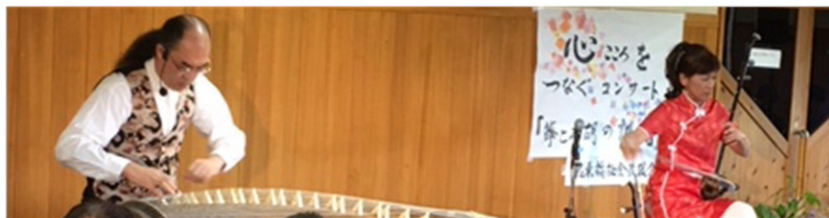
名東福祉会 サポートだより

名東福祉会後援会 広報部

NO.2
2019. 4. 1

こころをつなぐコンサート 「箏と二胡の調べ」

2018. 10. 31 (水曜日)



素敵なこころを
癒やす音色

箏 杉浦 充
二胡 中村 ゆみ子

悠久の音色に
うっとり



お箏とは？

今日は、ハロウィーン
衣装もそれなりに



名東福祉会後援会では、会員・ボランティアの皆さん、レジデンス日進の地域のみなさんへの日頃の感謝を込めて初めてコンサートを2016年3月に琵琶・尺八・箏の邦楽界のトップで活躍の演奏家を迎え「和の音・和の心を奏で歌いつぐむ」をテーマに2016年3月に開催をしました
第2回目は、「こころをつなぐコンサート」テーマに2018年10月31日に「箏と二胡の調べ」コンサートをレジデンス日進交流室で開催しました。当日は、70名の皆さんに日本の箏・中国の二胡アジアの二つのどこか懐かしく親しみを感じる音色と素敵なユーモアのあふれたトークを楽しんでいただきました。皆さん癒されていただけでしょうか？
次回は、どんなコンサートをと考えています。

第二回「名東ボランティア展 in 藤が丘リニモス広場」に参加

2018年11月17日(土曜日) 秋晴れでさわやかな中、後援会役員でブース出展をしました。当日は、名東区で活躍されているボランティアさんや名東区内の福祉施設など約15の団体がブース出展、体験コーナーステージパフォーマンスなど楽しい催しが盛りだくさん。約600名の方々に来ていただき、後援会のブースにも多くの方々が来てくださり製品は(クッキー、焼き菓子、手作り品など)ほぼ完売。嬉しい限りでした。ステージでのボランティアトークでは、会長、副会長が施設の紹介ボランティアのお話などさせていただきました。
名東福祉会を知っていただく良い機会をもつことができました。



職員紹介

名東福祉会の各施設は、
日々職員のみなさんの笑顔に支えられています。
支援員の皆さんに感謝。
4施設の支援員さんに
3つの質問と思いをお聞きしました。

皆さんに質問

- ①好きな言葉
- ②マイブームは
- ③宝くじが当たったら



メイトウワークス
安藤 典子支援員

- ①「多忙は、怠惰の隠れ蓑」
(大切な事を見落とさず…)
- ②ある吹奏楽部の応援！！
(今年がラストイヤーです)
- ③小心者なので、宝くじに
かけた事がないのですが
もし当たったら、
今まで思いもしなかったことに
挑戦したい。

★ メイトウに異動してたくさんの方に
支えられている事をあらためて実感しています。
これからもご指導よろしくお願いします。



天白ワークス
木山 明洋支援員

- ①「山椒は、小粒でもピリリと辛い」
- ②カラオケ
- ③アパートを複数借りて、
勉強・趣味・運動専用の部屋を作る。
目的な気分で住む場所を変える。

★ 利用者の皆さんから教えられる事が
たくさんあるので、利用者のみなさんと
一緒に成長していきたいと思います。

レジデンス日進



吉見 昌輝支援員

- ①「雨天決行！強い」
- ②バスケットボールが
好きなので、NBAばかり
- ③高い服を買いあさり続ける。

★ レジデンス日進1年目最年少。24歳吉見昌輝ですっ。
若さ、元気で頑張ります。よろしくお願いしますっ。



レジデンス日進

相羽 由理奈支援員

- ①「コツコツは、勝つコツ」
- ②読書
- ③猫を2匹飼う

★ 利用者さまもご家族も職員も
私もハッピーになれるように
もっともっと成長していきます！

はまなす



利川 秀樹支援員

- ①「かけた情けは、水に流せ
受けた恩は石に刻め」
- ②子育て
- ③はまなすの利用者、職場の仲間と
旅行に行きます。
残りは貯金したいと思います

★ 利用者の方々に対して「何か困り事はないか？」
「わかりにくい事はないか？」を気を付けるように
心掛けています。
どんな時も利用者の方々の気持ちを
くみ取り形にする事が日頃の課題と思っています。

今回、職員紹介コーナーを
用意していただきありがとうございました。
名東福祉会のどの職員も利用者の皆さんのことを
思い真摯に日々の支援に向き合っている
人たち。そして法人の大切な人材です。
応援よろしくお願いします。(理事長 山田)

名東福祉会創作活動の取り組み

陶芸事業部

三上 政美



せともの祭出店

名東福祉会は、当初より創作活動に積極的で自主製品の一角を担っています。陶芸は融通の効く応用範囲の広い分野で、市場ニーズもあり利用者への還元率もたかいと思われます。ただ、土という素材は自由にものが作りやすいこともあって、土を使った楽しい表現をする人が出てきました。アートとみられる自己表現を直接商品取り入れることもプログラムの新しい流れだと思います。就労という観点からも商品化というプロセスが外せないですが、ここでは、アート活動に限ってレポートします。



「あいちアール・ブリュット展」
名古屋市市政資料館



大村愛知県知事と小寺さん

時を追っていきますと

1990年代後半から東海地方対象に展開されたフロール展は「土と絵による生（いのち）の芸術展」として10年間開催。その後昨年小寺良和さんが、大賞をいただいた「ふれあいアート展」の生活サポート協会に引き継がれました。愛知県主催の「あいちアール・ブリュット展」そして2016年に全国障害者・文化祭が開催され繋がってきています。

施設で余暇活動の一環であった創作活動や陶芸が、利用者の自己表現や切実な問いかけなら、アートの視点から評価することが求められるのでは。それには、商品への転用だけでなく、福祉サイドの表現活動として（福祉の療法、支援としてでなく）発信していきたいと思います。利用者に寄り添うものとして、生の芸術（アール・ブリュット）の発見に努めたいと思います。

2018年ある日の各施設の表現活動……楽しんでいきます

メイトウワークス…自分のストーリーを持っているアーティストって一見ゴチャゴチャに見えてそれでいて一点ずつテーマが備わっている。「切実で誠実で逸脱している」ダイナミックな作品に引き込まれます。

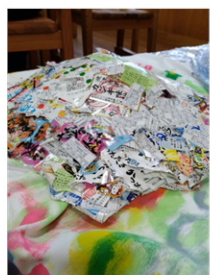


天白ワークス

器物性（実用性）のある作品は、小寺さん。他の人に絵付けを任せることがあります。オリジナリティーをそれほど絶対視していない。それより人間関係を大事にする人です。



はまなす絵画ワーク…貼り絵がブーム色面と線描が多い。4つ切り画用紙を500枚使い切り追加を



レジデンス日進
日中活動の中で週1回創作の日。
楽しいと少しずつ人が集まる。

余暇活動レクリエーションは、安心安全前提。
創作活動が目指すもの…危険遊び、危ないオモチャは、物騒という事になっている。ともすれば創作は、破壊に似ている。創作の日として活動をしているが、普段はびっしり軽作業に没しているのではほどの意思を持たないと自由に出来ない。意思決定支援は、プログラムの限定から作る必要があり。陶芸をキープしながら利用者が何がやりたいのかを探る支援を続けています。

メイトウ・ワークス

明るく使いやすく

トイレ大改装しました

開所以来のトイレは、利用者の皆さんにたいへん使いづらくご不便をお掛けしていました。

平成30年8月に、メイトウ・ワークスが家族会のご支援もあり明るく使いやすいトイレへと大改装されました。

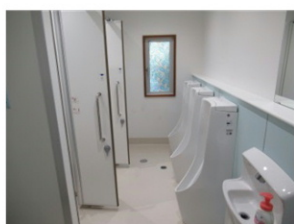
バリアフリーといえばトイレと思いつく時代になっていますが、メイトウ・ワークスが開所したのは35年も前。

当時最先端であったであろうメイトウ・ワークスの建物も、時代の変化に少し遅れ気味なところもありましたが、それも今回の大改装によりこれまで不便さを補って余りあるほどの設備になりました。

1階トイレの改装だけでなく、今回2階に男女トイレを設置しました。これまで2階の利用者の方には、毎回1階トイレまで移動していただかなくてはならず、大変ご不便をお掛けしていましたが、これも解消することができました。



男子と女子扉の色を変え



1階トイレ



2階トイレ



明るく
窓も大きく

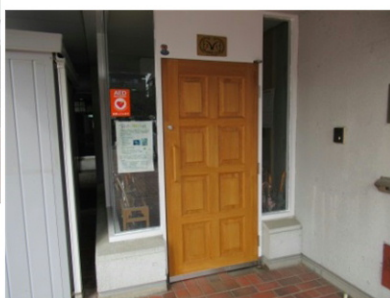
女子トイレは
ピンクで



玄関扉も替えました



一見、お家の玄関



綺麗なトイレに合わせ玄関扉も今までの雰囲気から変えて木製の親しみやすい扉に。扉の枠も白く塗り直し明るい玄関になりました。

少しずつ生まれ変わる
メイトウワークスを
今後もよろしくお願いします。

(メイトウ・ワークス所長 磯部)

編集後記

平成31年度総会のお知らせ

日時 5月30日(木曜日)

10時から12時

場所 レジデンス日進 2階交流室

内容 総会議事

各施設長からのお話

テーマ「名東福祉会の今、そしてこれから」

～みんなで考えよう～

※総会修了後、屋上庭園にてティータイム

後援会では、昨年度初めての試みとして職員の皆さんへ誕生日月にクオカードを送らせていただきました。

皆さんからうれしいお声をいただきました。

今年度も引き継いでいきたいと思います。

サポート便り第2号は、職員のみなさんからお声をお聞きした紙面も作りました。

職員の方々をより身近に感じていただき利用者の皆さん、支える家族の方々との潤滑油になるのでは。

平成も終わり新しい年号になります。

利用者の皆さんのライフステージがより豊かに楽しくなるよう法人・職員・家族が繋がっていける後援会活動を今年度も行ってまいります。(文責 加藤)